



合志の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和8年5月29日（金）No 8 発行
文責：松本 卓也

今日学んだことを意識し、立ち止まって使っていきます

近年、児童生徒が、無料通話アプリや SNS、オンラインゲーム等の利用などを通じて、長時間利用による「生活習慣の乱れ」や、ネット詐欺・不正請求などの「ネット被害」、「SNS によるトラブル」などに巻き込まれてしまう可能性が高まっています。

そのため、子どもたちに「情報モラル」を身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが、学校や家庭、社会のそれぞれの立場で求められています。本校ではその一環として、21 日（木）、情報モラル教育講演会を開催しました。講師は、日本公衆電話会の H 様です。「ネットへの投稿」「ネットの使い過ぎ」「ネット上の偽・誤情報」「ネットの特性」について、事例をもとに子どもたちに考えさせながら、インターネットの安心・安全な使い方について教えていただきました。正しく使うためのポイントとして、

- ネットへの投稿 → 投稿前に立ち止まり、本当に大丈夫か？よく考えよう
- ネットの使い過ぎ → 自分の利用状況を知る（スクリーンタイムの活用）
お家の人と納得できるルールを決める（時間や場所等）
ネットやゲーム以外の趣味を持つ（リアルの楽しみ）
- ネット上の偽・誤情報 → 様々な方向から正しい情報か？見極めよう
（情報源？発信者？新聞や TV でどう言われているか？画像は本物か？）
- ネットの特性 → フィルターバブル（見たい情報ばかりが見える）
エコーチェンバー（同じような意見ばかりに触れていると自分の意見は正しいと信じ込み、冷静な判断ができなくなる）
アテンション・エコノミー（注目を得るためにタイトルや内容が過激になったり憶測で作成した情報が飛び交ったりしやすい）



があり、ルールを守って賢く使うことが大事であることを学びました。お礼の言葉では、視聴覚副委員長の N さんが、「SNS は正しく活用すれば便利なものだけど、誤った使い方をすると取り返しがつかないことになるかもしれないことがわかりました。これから SNS を使うときは、今日学んだことを意識し、立ち止まって使っていきます」と述べてくれました。

情報通信機器を利用する際は、危険性や法的責任を理解した上でルールを守った使い方をすることが大切です。時間や場所、約束（宿題が終わってから使用する等）等、ご家庭でのルールづくりを、改めてお願いいたします。

追伸：講師の H 様から、「勢いよく挙手し、考え、自分の言葉で発表できる子どもたちが素晴らしい。これだけ活発に話せる学校はあまりありません」とお褒めの言葉を頂きました。H 様、お忙しい中、ご講話いただき、ありがとうございました。



ようこそ、先輩！ ～教育実習開始～

今年も、卒業生が教育実習生として合志中に帰ってきました。①教員を目指したきっかけ、②抱負を尋ねてみました。

S 先生 ①英語が苦手でしたが、中学校の先生に相談したことで好きになったからです。
(1 年談話)

②交流を深めながら理想の生徒像を目指していきたいです。

N 先生 ①小学生の頃、友人に教えた際に、「ありがとう」と言われるのが嬉しかったからです。
(3 年談話)

②人生で一度しかない貴重な期間、目一杯楽しみたいです。

A 先生 ①プロサッカー選手を目指していましたが断念。大学でサッカー教室を行っていたこともあり、もう一つの夢である教員を目指しました。
(2 年談話)

②授業だけでなく、接し方等、先生方の動きも学んで、実りある実習にしたいです。

3 名とも、とても意欲的な姿勢で感心しました。6 月 12 日（金）までの 3 週間、子どもたちや先輩教員の姿から多くのことを学んでくれたらと願います。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()